



- 甲府やまなみクラブ会長主題：Think Globally Act Locally 藤原 一正
- あずさ部長主題：よい結果をもたらす心の安定と考える力を 森本 俊子（長野）
- 東日本区理事主題：未来のために今、学びと気づきを、未来のために、
自信を育み、真の喜びに出会う！ 山田 公平（宇都宮）
- アジア太平洋地域会長主題：変革のための光となろう 利根川恵子（川越）
- 国際会長主題：輝かそう、あなたの光を Ulrik Lauridsen（デンマーク）

甲府やまなみ
ワイズメンズクラブ
2024年 5月
No.20

●今月の強調目標
LT・ユース

●今月のことば
「信は力なり」

山口 良治(伏見工業高校・ラグビー部監督) 三井 雅之 君 選

今月の例会案内（第20回）

- 日時：2024年5月8日（土）18:30～20:30
- 会場：山梨YMCA
- ・開会点鐘 藤原 一正 会長
- ・ゲスト・ビジター紹介 司会者
- ・ワイズソング 一同
- ・会長挨拶 藤原 一正 会長
- ・今月のことば 三井 雅之 君
- ・ワイズディナー
- ・ゲスト卓話
- 「片付けた先の未来を考えてみませんか？」
整理の行動習慣スペシャリスト 橋本 晶子 様
- ・諸報告、協議
- ・ハッピーバースデー&アニバーサリー
- ・YMCAの歌 一同
- ・閉会点鐘 藤原 一正 会長

Photo
of
monthly



4月20日(土)、Week for Wasteに合わせて
甲府駅北口広場周辺のゴミ拾い

4月のデータ

会員数:12名 例会出席:メンバー6名
ゲスト:橋本晶子様 例会出席率:50%
Week for Waste(収集ゴミ):2.5kg

ハッピーバースデー

メン 大澤 祥子 (5/28)

アニバーサリー

該当者なし

今月のことば

信は力なり 三井 雅之 君

最近、ネットフリックスで「スクールウォーズ」を懐かしく視聴しました。全国高校ラグビーで4度の優勝を誇る京都の名門・伏見工業の「泣き虫先生」として知られる山口良治監督の言葉です。

人に対しても自分に対しても、自分のやることに対して、信じ切ること、やり遂げること。「信じる」「信念」という心の状態ではなく、実践を伴った行動そのものの「信」。そして最後まで信じ切る、やり遂げる、そのことこそが能力であり、才能だということを言っています。

やると決めたらどこまでも自分を信じて、信じて、信じ切って、とことんやるべきことを追求していきたいですね。

ゴミ拾いの後の美味しいランチ

～ 4月例会 報告 米山 俊彦

4月20日土曜日、当日は、甲府の今年の最高気温が記録された暑い日となりましたが、午前中は、晴天に恵まれた爽やかな気候の中で、初めての野外活動例会を行う事ができました。

参加者は、藤原会長をはじめ、松本副会長、仙洞田さん、大澤さん、三井さん、米山、そしてゲストの橋本晶子さんの7名でした。

今月の例会は、いつもの例会とは違って、2020年度から世界中のワイズメンズクラブが参加し、毎年4月のアースデーに合わせて実施されている、W 4 W (Week for Waste) 活動として、甲府駅北口アシストエンジニアリングよっちゃばれ広場周辺の清掃活動を行いました。年々ゴミの投棄は減っているようですが、それでも短時間ではありましたが、タバコの吸殻や飲食物のパッケージ等のゴミが甲府市指定のゴミ袋(45L用)に、8割ほど集まりました。

その後、会場を甲府駅北口にある「茶房 どんぐり」に移し、店の看板メニューのオムライスやカレーライスの昼食を取りながら、今後の予定の確認を行うとともに、次年度の事業計画や役員選任等について話し合いを行いました。

今後の予定は、5月8日、6月5日の例会、6月19日に役員会を開催して、次年度の事業計画等を決める事に加え、5月11日は東京で「あずさ部評議会」、6月1日には北海道帯広で「東日本区大会」、6月9日には「山梨YMCAチャリティーラン」と結構、忙しい年度末になりそうです。



次年度の事業計画については、ユーススタディーツアーとタイ・チェンマイクラブとのIBC締結の計画について、藤原会長から説明があり、当クラブの新たな取り組みとして、少しずつ活動の幅を広げて行ければ良いと思いました。

また、昨年7月に行った国際理解と交流を深める「グローバルフェスタ」について、次年度は秋頃に行う予定で、日程調整を進める事になりました。

役員の選任については、原則として、現在の役員に引き続き次年度も同じ役職をお願いするとともに、空席となる書記については、仙洞田さんにブリテン担当との兼務を私からお願いして、了解をいただき、最後に、藤原会長の挨拶で例会は閉会となりました。

甲府駅北口の歴史公園にある遅咲きの「太白桜」もさすがにほとんど散っていましたが、気持ちの良い陽気の中の野外活動と美味しいワイズランチを楽しんだ4月例会でした。

二つのウォーキングに参加しました

仙洞田 安宏

第3回ワイワイウォーク 築地・佃島

4月13日(土)、東日本区の第3回役員会(東京・四谷)出席を兼ねて、東新部主催の「ワイワイウォーク」に参加しました。東新部では部の事業として、「Y友広場」と称し、料理教室やコンサート、ウォーキング等を実施していて、今回のウォーキングは3回目だそうです。地元在住の東京クラブ会員・小島康良さんのガイドで、東京下町の築地・佃島を歩く企画でした。

11時に築地本願寺正門前に東新部のメンバーを中心に23名が集合、聖路加病院のある明石町境界は、工学院、慶應義塾、明治学院等の発祥の地で、それらの記念碑を見ることができました。隅田川を渡って佃島、月島の「もんじゃストリート」の西仲通り、再び隅田川を勝鬃橋で渡り築地場外市場で遅い昼食をとりました。

個人的には、近代建築である「築地本願寺」「聖路加国際病院」「カトリック築地教会」の有名どころを40数年振りに再見した他、佃島住吉神社の「神奥庫(煉瓦造・明治43年築)や、日本最古の交番と言われる「旧月島交番(大正15年築)」を初めて見ることができ、収穫の多い一日でした。



【集合場所の築地本願寺前で】

WHO 百花撩乱・善福寺川緑地と友との再会

東京西クラブが1997年から行っているウォーキング事業「WHO(ウォーキング ホリデー オギクボ)」に参加しました。4月27日(土)、西クラブのお膝元である杉並区善福寺川周辺の緑地や神社・仏閣を巡るコースです。このWHOを牽引してきたメンバーの吉田明弘さんが昨年からの体調を崩され、あずさ部の評議会等でもお会いすることができなかったのですが、今回のコースが吉田さんのご自宅に近いことから、WHOの参加者と交流する場面も設定されると聞き、吉田さんにお尋ねしたいこともあったので参加しました。(以降のWHOは、東京グリーンクラブの樋口順英さんと元石巻広域クラブの関喜一郎さんがサポートしており、ワイズのネットワークに感心しました。)

このWHOは、今回が266回目ということで、7月・8月を除き、毎月実施されています。今回の参加者は

40人(多い時は50人を超えることも)で、ほとんどがワイズ以外の“常連”のようで、すっかり地域に根付いた催しと感じました。この日も、久しぶりに吉田さんの顔を見た参加者の皆さんがそれぞれに語りかけていました。

2007年2月に、私が推薦したコース(20代の頃住んでいた目白・下落合地域の近代建築等)を歩いた時にも参加しましたが、17年経つと当然ながら参加者の年齢も歩く速度も相応になります。そう思うと本家WHO(世界保健機関)お墨付きのプログラムであるかのような「WHO」というウイトに富んだネーミングに、合点している次第です(笑)。

数日前からの予報は雨マークで文字通り鬱陶しい気分でしたが、幸い傘の出番もなく、また心配していた吉田さんもお元気でしたので、気分は晴れやかなウォーキングでした。



【緑豊かな和田堀公園第二競技場の緑地にて】

今月の強調目標

LT (Leadership Training)

会員のリーダーシップの開発、向上を目的に行う研修またはこれを推進する事業の名称。東日本区では、LT委員会が設置され、区主催の部役員、クラブ役員の研修の企画・実施、研修教材の整備・提供、部主催の研修会等の支援を行っています。

ユース

ワイズメンズクラブは、青少年の活動を積極的に支援しています。ワイズメンの子弟などの海外短期交流プログラム(STEP=Short Term Youth Exchange Program)や、国際大会や地域大会の折には、ユースの参加を支援しています。

行事予定

- ✓5月11日(土) あずさ部第3回箱根山評議会
(13:00～17:00 東京YMCA山手センター)
- ✓5月24日(金) チャリティーラン実行委員会
(18:30～ 山梨YMCA)
- ✓6月 1日(土) 第27回東日本区大会(帯広市)
- ✓6月 5日(水) 6月例会 (18:30～20:30 談露館)
- ✓6月 9日(日) 第26回山梨YMCAチャリティーラン
(小瀬スポーツ公園補助競技場)
- ✓6月19日(水) クラブ役員会
(18:30～ 山梨YMCA)
- ✓7月 3日(水) 7月例会(会場未定)
(18:30～20:30キックオフ定期総会)

温故知新～史料室の書棚から 仙洞田安宏

甲府クラブの史料の中に、1995年2月5日の日付がある紙片がありました。おそらく役員会での参考資料として故大澤英二さんが作成したものと思われます。

内容は、甲府クラブ会員の年代構成や市内の他の奉仕団体の会員数、県内の主な市町村の人口などです。会員増強のための手引きにしたのでしょう。1995年と言えば、私が甲府クラブに入会した翌年ですが、この資料は初見です。私が2002年～03年度のクラブ会長を務めた時(49歳でした)、これと同じようなデータを作成しましたので、さらに現在のものも加えて比較してみました。

【甲府クラブ会員の年齢構成の推移】

	1995年1月	2002年4月	2024年4月
会員数	52(4)	46(6)	22(3)
()は女性			
90代	0	0	1
80代	2	0	2
70代	1	7	6
60代	10	17	6
50代	20	7	3
40代	11	11	4
30代	3	4	0
20代	1	0	0
平均年齢	54.1歳	57.3歳	65.7歳

註:1995年の年代には女性は含まれていません。

▼甲府市内の他団体のデータも比較してみました。

	1995年	2024年
ロータリー	7クラブ 612人	8クラブ 352人
ライオンズ	9クラブ 550人	8クラブ ※
青年会議所	275人	82人
山梨県人口	約87万人	約79万人
甲府市人口	約20万人	約18.4万人

※ライオンズクラブに現在の会員数を問い合わせしましたが、回答はありませんでした。

▼ちなみに我がやまなみクラブは会員数12人、平均年齢は59.3歳。80代-1人、70代-3人、60代-1人、50代-2人、40代-5人という構成です。



山梨 YMCA 総主事
中田 純子

「わたしは、世の光です。私に従う者は、
決して闇の中を歩むことがなく、
いのちの光を持つのです」

今年のペンテコステは5月19日(日)です。私は2021年のペンテコステに受洗しました。洗礼の際、「これからのあなたにあなたの聖句を伝えます」と牧師からヨハネによる福音書8章12節「わたしは、世の光です。私に従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです」があたえられました。

当時の私は、YMCAに集う子どもたち、家族、その環境へのアプローチに対して、困り感という闇の中から、自分が光となり、彼らの足元を照らし光へと導くことであると信じて、日々の業務を行っていました。子どもたちの等身大を知り、困り感から必要なケア、言葉のかけ方、成長・発達を細分化して細かく丁寧に関わり、彼らの3年・5年・10年の先を見通しながらケアすることに懸命でした。更に、彼らを取り巻く環境に働きかけ、関係各所との連携に時間をかけ、自分を忘れて一生懸命働いていたのを思い出します。

総主事として歩んでいる今を見ますと、今まで以上に業務が多く、一日を過ごしている事に気づかされます。しかし、これに対して、今日が来ること、変わらぬ日々があることに喜びを感じる私がいることにも気づかされます。

日々の業務で、お会いする人にお声がけ頂け、本当に多くの方々に支えられていることを実感します。多くの人とつながり、皆さんからの言葉により私自身が高められ、必ず訪れる日々に対し不安がなくなるのでした。多くの人と時間を共に生きることで、生かされている自分がいることを感じます。神様とつながり守られていること、聖霊に満たされた神の御言葉にふれることができていることで、5月の受洗で与えられた聖句が心に響き渡り、これからも歩みを進めてまいります。

*ペンテコステ(ラテン語: Pentecostes)

聖霊降臨(せいれいこうりん)と呼ばれる新約聖書にあるエピソードの1つ。イエスの復活・昇天後、集まって祈っていた120人の信徒たちの上に、神からの聖霊が降ったという出来事のこと、およびその出来事を記念するキリスト教の祝祭日。教派により訳語は異なり、聖霊降臨祭(せいれいこうりんさい)、五旬節(ごじゅんせつ)、五旬祭(ごじゅんさい)、7週の祭り(シャブオット)ともいう。

(ウィキペディアより)